



散髪する学生
東京都 昭和19年(1944)



制服姿で焚き火を囲む学生たち
東京都目黒区 昭和15~18年(1940~43)



皇居前広場に集まった人びと
東京都千代田区 昭和20年(1945)8月16日 石川光陽撮影



戦時下の暮らし
『風太郎不戦日記』を通して知る

マンガ



東京駅での退避訓練
東京都千代田区 昭和18年(1943)8月 石川光陽撮影



入場無料

令和3年

3.20_土~5.9_日



会場: 昭和館2階ひろば
開館時間: 10:00~17:30(入館は17:00まで)
休館日: 月曜日(5月3日は開館、5月6日は休館)
協力: 講談社
後援: 千代田区 千代田区教育委員会

『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下の暮らし



建物疎開作業を行う学生たち
東京都 昭和19年(1944)

ごあいさつ

作家 山田風太郎は、『戦中派不戦日記』と題して、昭和20年(1945)の自身の体験を記録しています。

この『戦中派不戦日記』が漫画家の勝田文さんにより、『風太郎不戦日記』とタイトルを改め、ユーモアを交えて漫画化されました。

このたび昭和館は、漫画化にあたっての監修に携わりました。

当時の日本は戦時下であり、同世代の若者たちが戦地へ赴くところ、体調不良により召集を見送られた風太郎は、葛藤を抱えながらも、終戦の年に起きた出来事を、若者らしい視点で、見て感じたありのままを記録しています。

本展の前半は『風太郎不戦日記』の誌面を通して戦時下の暮らしを、また後半では「男子学生たちの青春」と称して風太郎と同時代に生き、戦争に青春時代を翻弄された男子学生たちの姿を、昭和館の所蔵写真からご紹介いたします。

原作

山田風太郎(やまだふうたろう)

本名は山田誠也、大正11年(1922)兵庫県養父郡関宮村(現・養父市)生まれ。
昭和10年(1935)豊岡中学校(現・兵庫県立豊岡高等学校)に入学、15年に卒業したものの17年8月に家出同然で上京。同年には徴兵検査を受けるが、体調不良のために丙種合格とされ入隊を免れる。品川の軍需工場で働きながら受験勉強を続ける。
19年に東京医学専門学校(現・東京医科大学)に合格。在学中の22年、『達磨峠の事件』で作家デビュー。25年に卒業、その後は作家として本格的に活動。
33年に『甲賀忍法帖』を皮切りとする忍法帖シリーズ、46年に『戦中派不戦日記』を刊行。
平成13年(2001)7月28日、79歳で逝去。

漫画

勝田文(かつたぶん)

愛知県出身。平成10年(1998)に集英社「YOUNG YOU」でデビュー。
主な作品に『マリーマリーマリー』『小僧の寿し』(以上、集英社刊)、『プリーズ、ジーヴス』(原作P・G・ウッドハウス/白泉社刊)など。



炊き出し訓練
東京都 昭和15年(1940)9月 石川光陽撮影



東京大空襲の被害
東京都墨田区 昭和20年(1945)3月20日 菊池俊吉撮影

複製原画展

「山田風太郎の八月十五日」

昭和館5階ギャラリーでは写真展に関連して、『風太郎不戦日記』の複製原画展を開催します。



会場イメージ

©山田啓子・勝田文/講談社
漫画タイトルロゴデザイン/名和田耕平デザイン事務所



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575

<https://www.showakan.go.jp> <https://twitter.com/showakankudan> <https://www.facebook.com/showakankudan/>

●交通のご案内 **電車ご利用の場合** 地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4出口)
JR飯田橋駅から徒歩約10分

車をご利用の場合 首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)

●有料駐車場(30分200円) 普通乗用車専用駐車場がご利用になります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内の一斉清掃や、入場制限を実施しています。詳細はHPでご確認ください。

